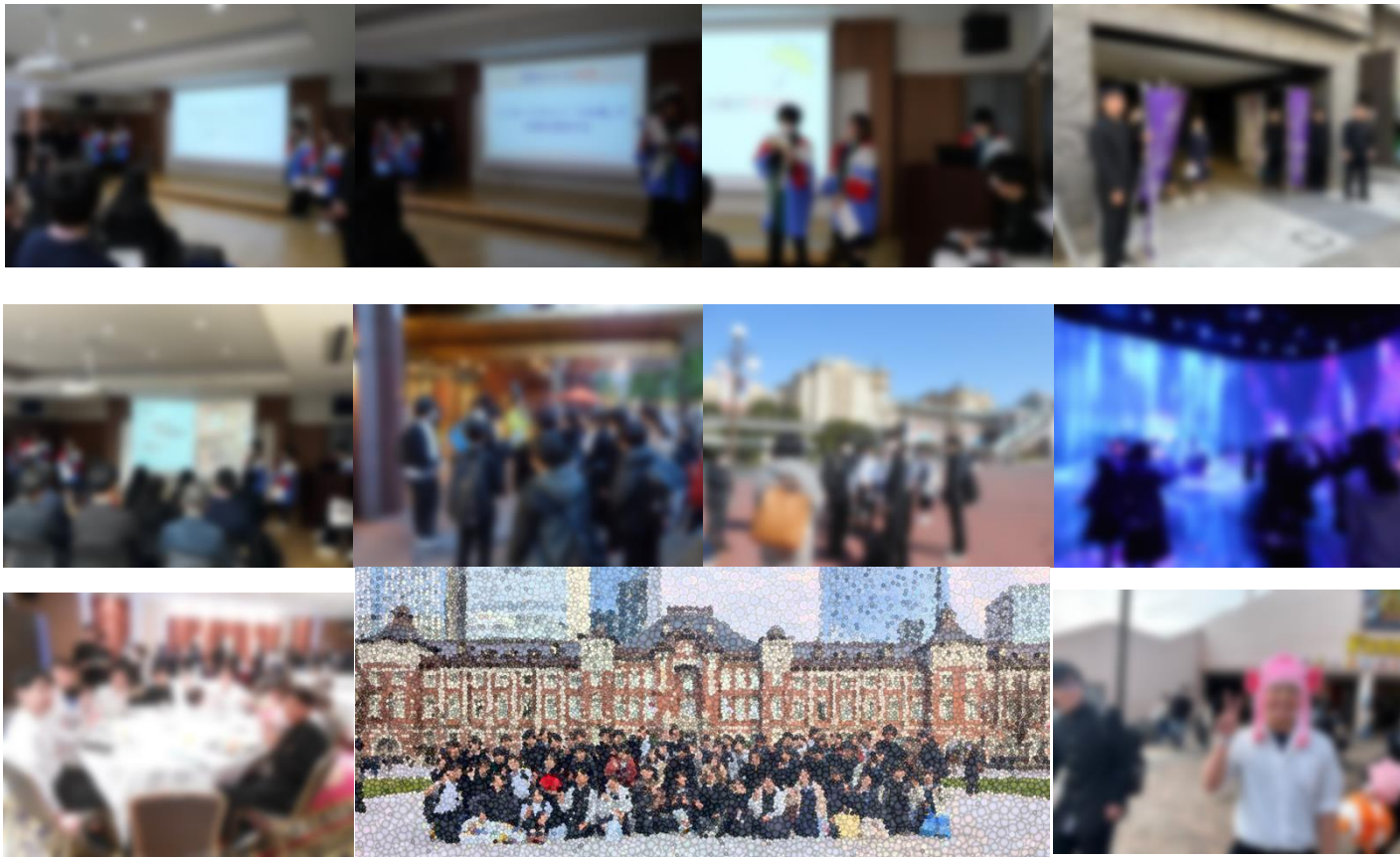


○修学旅行

3年生の卒業を見送り、最高学年への自覚を胸に2年生が東京へと出発しました。目玉は、これまで地道に積み重ねてきた「MOTTO HOT KAMO」の集大成となる成果発表会です。生徒たちは都会の緊張感に包まれながらも、自分たちのアイデアを堂々とプレゼンし、外部の方々からも温かい助言をいただきました。慣れない地での挑戦を通じて、一回り大きく成長した生徒たちの姿が非常に印象的でした。また、2日目東京巡検、3日目ディズニーシー、八景島シーパラダイスと充実した3日間を過ごしてきました。



○お世話になりました

令和7年末の異動により8名の職員が転出いたします。今まで大変お世話になりました。

氏名	転出先	氏名	転出先
校長 井狩 歩	退職	教諭 佐田 昌之	長岡市立刈谷田中学校
教諭 石澤 泰裕	退職	講師 皆木 陽介	加茂市立葵中学校
教諭 真庭 恭子	五泉市立五泉中学校	支援員 関 聡子	加茂市立葵中学校
教諭 菅原 麻美	村上市立村上東中学校	調理員 笠間真由美	加茂市立加茂南小学校

◇4月の予定◇

4月 7日	(火)	新任式・始業式	22日	(水)	分団集会
8日	(水)	入学式	23日	(木)	1年生正式入部・部活動集会
9日	(木)	身体計測・生徒会入会式	28日	(火)	オープンスクール・PTA講演会 部活動保護者会
17日	(金)	PTA理事会・評議員会			

【春休み期間中の緊急連絡について】

春休み期間中、事故等で学校へ緊急連絡をされる方は、下記の携帯番号に連絡をお願いします。

○加茂中学校 52-0262
○加茂中学校緊急携帯番号 080-1605-9258 (ショートメール可)



加茂中だより

HP 更新中！ <https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1520023>

○第79回卒業証書授与式

3月4日(火)に第79回卒業証書授与式が行われ、3年生57名が加茂中学校を巣立っていきました。前日の雪で天気心配されましたが、雲の隙間から日差しが届く中での卒業式でした。3年生は、学校生活や部活動、学校行事などで加茂中学校の模範となるような活躍を随所に見せてくれました。卒業後は2年生が加茂中学校の顔として、本格的に活動をはじめました。卒業生が築いてきた加茂中の伝統をさらに高められるよう、1、2年生の活躍に期待しています。

◇校長式辞 校長 井狩 歩

57名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。今、手にした卒業証書は、皆さんがこの加茂中学校で三カ年の中学校課程を修了したことを表しています。

皆さんが入学して三年。時間が経つのは早いものです。そして、今年是最上級生となり、皆さんの活躍で加茂中学校が大いに活気づきました。今年度の生徒会スローガンは、『青春謳歌(せいしゅんおうか)』。謳歌とは、自分の置かれた状況や境遇を心から喜び、存分に楽しむことを意味しています。青春まっただ中、仲間とともに今しかできないことを、困難を乗り越えながら全力で楽しみ、この加茂中学校をより良くしたいという思いを込めています。「カモチューランドを楽しめるものにしよう」と生徒会を中心に、体育祭・合唱コンクールの加茂中二大行事だけでなく、キャンペーンやレクリエーションなど全校生徒が一丸となるように頑張りました。そして、KAMO坂21だけでなく、「加茂中大好き・加茂中最高」とリズムに合わせて踊る「05神楽」。いつしか「加茂中愛」が学校の枠を越えて、加茂に元気を届ける活動にまで広がりました。学年の垣根を越えた交流、地域に発信・貢献する活動。それらを創り上げる皆さんの姿は、とてもたのしく立派でした。



加茂中学校のリーダー論として、「学校や学年の目標や課題を理解し、先生方と信頼関係が築ける生徒」と皆さんに話をしてきました。「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答する生徒が、全国や県平均より15ポイントも高い60%を越えています。そんな皆さんと学年部の先生方との絆は、強く太い信頼関係で結ばれています。「みんなから愛される、居心地のいい温かい家族のような学年」を目指し、キーワードは「愛」と「感動」。そんな先生方との三年間の学校生活は、何物にも代え難いものになったに違いありません。皆さんと一緒にいった関西方面の修学旅行も、私にとってもいい思い出です。

いよいよこの加茂中学校を巣立ち、それぞれの道を歩むこととなります。新たなステージに立とうとしている今、そんな皆さんに、メッセージを送ります。それは、チャレンジ『挑戦する』ということです。

中学校を卒業したからと言って、四月からあなた自身が大きく変わることはありません。周りの人たちから見れば高校生です。でも、昨日も今日もそして明日も、あなたはあなたです。疲れたら休みたい。面倒なことは避けたい。弱い自分も皆さんは心の中で知っています。今までは、応援してくれる先生や友だち、親がいたから、一つ一つ経験を積みながら、ここまでたどり着きました。明日から、いきなり強い自分になることはありません。これからの人生でも「どうしようかな」と迷うことの連続です。ですが、もし迷ったら自分の心の声を聞き、「こう決めたのだから」と自分を信じ、実際に行動してください。やった方がいいかなと思ったら、思い切ってやってください。挑戦には成功は保証されていませんが、成長は約束されています。もちろん、挑戦には失敗することもあります。時に笑われたり、人に何か言われたりすることもあります。でも、自分は自分。挑戦は大きな成長につながります。今までを共に過ごした仲間が側にいなくても、思い出とともに心の中で一緒です。弱かった自分から、強い気持ちで一歩前へ踏み出してください。挑戦一つ一つが皆さんを大きく成長させ、きっと新たな自分に会えるはず。自分自身の「正解」を探して、見つけて出してください。

卒業式の様子



◇PTA会長祝辞 乙川 智子 様

卒業生の皆さん、加茂中学校ご卒業おめでとうございます。義務教育を修了し一歩外の世界へ出て行く今の気持ちはいかがでしょうか。先が見えず不安ですか。何かあるか楽しみですか。

思い出してみてください。三年前の春、真新しい制服に身を包み、加茂中学校の子の体育館に今日のように座っていた入学式のことを。三年前の自分に聞いてみてください。想像できましたか。体育祭で、仲間と肩を組み、あんなにも叫び激しく舞い熱く燃えたことを。合唱コンクールに向けて、意見をぶつけ合いながら毎日のようにパート練習を重ね、指が痛くなるくらいピアノに向かい、仲間と心をかよわせて歌ったことを。部活動に熱中し仲間と一生懸命取り組んだ練習の日々を。受験に向かって真剣に悩み、今までにないくらい勉強した自分を。友人と笑い合い、時には喧嘩し語り合った日々を。こんなにも夢中になって中学時代を過ごしたことを、想像できましたか。苦しいことや嫌なことがあり、もうだめだもうおしまいだと思った時もあったかもしれませんが、皆さんは今ここにいます。三年間を加茂中学校で過ごし、入学当時の皆さんから見たら未来の「今」を生きています。この「今」はあなたの方で創ってきたものです。

「したい」という意欲、「できる」という自信、そして「やっちなえ」という勇氣。挑戦がうまくいかないこともたくさんあります、でも全てはまだ途中なのです。あなたがいる限りあなたの未来は続くのです。どうぞこれから先に広がるまぶしく輝く未来を楽しんでください。そして、どうかあなたの未来の続きをあなたの手で創り続けて行ってください。



◇送辞 在校生代表 三野 敦大 さん

加茂中学校の最高学年として、全校をリードしてくださった皆さんの姿は、私たち在校生にとって、とても頼もしく、心強いものでした。今年度の生徒会スローガン「新風笑華 ～笑顔・友愛・結実～」のもと、様々な場面で私達をリードして下さいました。スローガンの達成に向け、どんな時も笑顔を絶やさず、新しいことに挑戦し続ける姿は、私達の憧れでした。楽しく充実した一年を過ごせたのは、先輩方のおかげだと改めて感じています。九月に行われた体育祭。チーム練習で、先輩方は、進んで大きな声を出してチームを盛り上げて下さいました。学年の垣根を超えて、なかなか振付が覚えられない人には、寄り添いながら指導して下さいました。そして迎えた体育祭当日、各軍を渾身のパフォーマンスでリードされる先輩方の姿は、とても素敵で、グラウンドの中で輝いていました。また、自分の軍だけでなく、相手の軍にも「頑張れ!」「良かったよ!」と声をかけ励まし、お互いを讃え合う先輩方の姿に、「加茂中学校」という大きな仲間の絆を感じ、体育祭がより感動的なものになりました。

10月の合唱コンクールもまた、忘れられない思い出です。一組、二組とも本当に素晴らしい歌声で、重なりあったまとまりのある歌声、真剣な表情、全身で表現する姿に引き込まれていきました。ハーモニーの素晴らしさはもちろん、全員の心が一つになった合唱は、私達に、賞を超えた大切なものがあることを教えて下さいました。そして長い時間を共にした部活動。慣れない私達に、技術や礼儀などを優しく丁寧に指導して下さい、お手本となる姿で活動をリードしていました。また、協力し合うチームワークの大切さを教えて下さいました。そんな私達の憧れである先輩方が、夢と希望を胸に、今日、加茂中学校を卒業されます。祝福の気持ちとともに、明日から先輩方がいらっしやらないという寂しさ、心細さもひしひしと感じます。しかし、私達在校生は、先輩方と過ごした日々を忘れることなく、先輩方が築かれた良き伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくことを約束します。これから、皆さんはそれぞれの道を歩み始めます。その道は決して安易なものではなく、辛いこともあると思います。そんな時は、加茂中学校で過ごしたかけがえない三年間を思い出して下さい。その思い出が大きな支えになると、私達は信じています。そして私達は応援し続けます。それぞれの道で自分らしく輝き、活躍して行ってください。

◇答辞 卒業生代表 五十嵐 乙寧 さん

今、この場に立ち、3年間の中学生生活を振り返って感じることは、この学年の仲間と出会い、ともに成長してこられたことを誇らしく想う気持ちと、その私たちを支え続けてくださった皆様への感謝の気持ちです。思えば、3年前の春。私達はまだ少し大きな制服に袖を通し、不安と期待を胸に、加茂中学校の門をくぐりました。新しい出会いに、どきどきしながら始まった中学校生活でした。最初はなかなか打ち解け合うのに時間がかかりましたが、気がつけば、同じように笑い、同じように悩む仲間となりました。授業で分からないことがあったとき、教え合ったあの時間、何気ない会話で笑い合った休み時間、その1つ1つが、私達の距離を少しずつ近づけてくれました。2年生に進級し、先輩たちが引退された部活動を皮切りに、リーダーとしての自覚が芽生え始めました。大会や行事、そして職場体験など、さまざまな経験をする中で中学校生活は一層充実したものとなりました。2月の修学旅行では、関西の歴史や文化に触れ、多くの学びを得ることができました。それと同時に、仲間と3日間笑い合いながら過ごした時間は、本当に楽しく、忘れられない思い出となりました。修学旅行で深まった団結と達成感、私たちをさらに大きく成長させ、「さあ、いよいよ最上級生。精一杯加茂中を盛り上げていきたい。」という気持ちを強くさせました。

迎えた3年生。「最後」という言葉を意識する1年となりました。最後の体育祭。「鳳炎」、「蒼雷」、クラスみんなで声を枯らして応援し合い、勝利を目指して全力でぶつかり合いました。悔し涙もうれし涙も、仲間と共に味わった素敵な思い出となりました。そして、最後の合唱コンクール。「あなたへ」、「YELL」、「流浪の民」、クラスや学年で心をひとつにして歌い、毎日の練習の成果を出し切り、きれいなハーモニーをホールに響かせました。この二大行事は仲間と感動を分かち合った最高の思い出です。それでも一番心に残っているのは、毎日の教室での友達との会話です。みんなで笑ったり話をしたり、そんななにげない時間が、私にとっての一番の宝物です。また、今年度の生徒会は「青春謳歌」をスローガンに掲げ、加茂中学校を「あい」であふれる学校にすることを目標に、「カモチューランド」として、さまざまな活動を行ってきました。全校生徒1人1人が、笑顔で学年関係なく楽しめる活動ができるよう、本部で考え、沢山のレクやキャンペーンを企画しました。それらの活動に3年生一人一人が、リーダーとしての自覚をもって取り組み、1、2年生がその私たちについてきてくれて、全校で同じ方向を向いて協力したからこそ、活気ある生徒会活動が展開できたと思います。

こうして、全力で駆け抜けた日々を振り返る時、「支えてくれる人のありがたさ」を改めて、実感します。

1、2年生のみなさん、私たちの呼びかけに真剣に耳を傾け、全力で取り組んでくれてありがとうございます。1、2年生の皆さんの姿に、私たちは勇気ももらい、多くの活動に積極的に取り組むことができました。明日からはみなさんが加茂中学校を創りあげていく番です。閉校までの2年、先輩達が築いてきた伝統を発展させ、それを形に残し、仲間と支え合いながら、新生加茂中学校につなげて行ってください。期待しています。(中略)

明日から、私たちは別々の道を歩み出します。その先にはきっと困難も待ち受けていることでしょう。それでも、私たちは、これまで皆様からいただいた、たくさんの「愛」と「教え」を胸に、自分の夢に向かって、諦めず、胸を張って前に進むことを誓います。これからも、大切な人や仲間と笑顔を分け合いながら、少しずつ前に進んでいきたいと思っています。

